

第2回与謝野町総合計画審議会 会議報告書

日時 令和6年11月26日(火)午後7時00分～午後9時23分

場所 岩滝保健センター 会議室1・2

出席(敬称略)

谷口 知弘	辻村 謙一	米華 千晴	長島 由昇
宮本 浩司	中田麻由美	井上 尋彰	植田友香理
樋口 潔	橋本 利将	細井 昭男	木村 憲二
高岡 知子	堀口 満朗	宇野 賢一	

欠席(敬称略)

木村 順一	関野 宅矢	安達 幸三	濱田 祐太
奥野 洋平	長谷川 達	小山富美代	市川 孝雄

事務局

企画財政課 山口課長	同 大江主幹	同 松本主任	同 田村課長補佐
------------	--------	--------	----------

傍聴者 なし

「会議の要点」

- 令和6年度まちづくりアンケート結果概要の共有
- 令和6年度の主な取組状況と今後の推進方策の説明により意見交換
- 令和5年度決算状況の共有
- デジタル田園都市国家構想交付金 事業効果検証

会議要旨 以下のとおり

1. 開会

- 大江主幹の進行により会議を開会
- 新委員の自己紹介(宮本委員、宇野委員)

2. 会長あいさつ

皆さんこんばんは。ようやく涼しくなったなと思ったら急に冬がやってきまして、本当、気候がどうなっているんだろうと心配で、野菜も高いですね。白菜一つ買おうと思ったら400円とか500円とか。でも、考えてみたら今まで農作物は安く手に入れすぎているのかなと。もうちょっと土と一緒に暮らすというのを大事にしないあかんなど、そんなことを感じたりしています。

実は与謝野町と関係するところで、関係するというのは立地するというところで、今年度なんです
が、与謝の海支援学校の学校運営協議会に加えていただきまして、演習、授業見学をさせていただ
いたり、この前も運動会も見に行ってきたんですけど、お話を聞くと子供たちの教育に、地域の事
業者の方や地域住民の方が本当に協力をされて、ご一緒にされているということを初めて知りまし
て、ああ、素晴らしいなというふうに思いました。

この総合計画も行政、事業者、そして町民と一緒に進めていくというのが基本になっております
けれども、教育の面でもですね、やっぱりこれからの人材を育てるところでそんな協力が、
もっともっと進んだらいいなとそんなことを思っておりました。

はい、ちょっと長くなりましたけれども、今日は第 2 回目ということになります。今年度の今ま
での進捗、それから次年度に向けて、どういうところを重点的に取り組んでいきたいのかというこ
とのご提案がありますので、今日も忌憚のないところ、現場の声を届けていただけたらありがたい
というふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事

(1) 令和 6 年度まちづくりアンケート結果概要について

- 事務局から資料 1 に基づき報告を行った後、質疑応答を実施。

〈意見・質疑応答〉

- ・ 地域のまちづくりへの参加の仕方がわからないという話があったが、私の働いている職場でも、
昼休みはスマホ、仕事が終わったら帰る。帰って何をするかといったら部屋でゲームをする。とい
うことでコミュニケーションが全く取れない人がやっぱり何人かいて、社会に関わろうとしない
人をどうしていくかが課題と感じている。
➡ひきこもりというのは本当に子供だけじゃなくて、青年、場合によっては老人も含めて、大
きな社会問題になりつつあることでもある。子供を地域で育てる段階から地域との関係をどう
作っていくのか、しっかりやっていく必要があると感じる。
- ・ インターネット回答が 101 件で昨年度よりもかなり増えている印象。何か工夫をされた点は、
回答の 101 件は年代的にどの年代が多いのか。
➡インターネットの回答件数は令和 5 年度が 94 件で 7 件増えた。特別何かしたわけではない
が、こういったアンケートを QR コードで回答することが徐々に浸透してきていると思っている。
インターネット回答者の年齢構成は分析できていない。
- ・ アンケート結果は、来年度以降の与謝野町の事業に何らか反映をして推進していくということだ
が、地域づくりとか、まちづくりとか、環境だったり、まちづくりには満足しているけど、魅力
ある働く場であったり、産業振興であったり、移住・定住であったり、もしかしたらうまくやっ
ているところが伝わっていない部分もあるような気がする。

(2) 主な取組状況及び今後の推進方策について

- 事務局から資料 2 に基づき説明を行った後、質疑応答を実施。

<意見・質疑応答>

- ・ 今年の米の作況、京都府は 101 で平年並みの作柄だったようだが、与謝野町はすごく収穫が悪い。農林課で色々取り組んでおられると思うが、農家はやっぱりコシヒカリがいいと思っておられると思う。お米の現状をいろいろ調べて、もうちょっと手厚く手当していただきたい。
➡農林環境課でも高耐性のお米の栽培について提案しているが、やはりコシヒカリの価値について、皆さん伝説的なものをお持ちで、なかなかそういうものに移っていけない。また新しいものを作ることは挑戦でもあるので、そういったところでハードルがあると思っている。
- ・ インターンシップ事業に参加させてもらったが、与謝野町同士でも知らない企業があり、事業者が相互理解するにはとてもいい取り組みだったと思っている。インターンシップに限らず、小学生でも中学生でも子供たちが職場を知るのには低ければ低いほどいいと思う。産業振興と教育が一緒になるかもしれないが、子供たちが参加できるイベントが夏休みにでもあればと良いと感じた。
➡産業振興会議の提言を予算化して、今年初めて企業人材の確保支援事業としてインターンシップ事業に取り組み、イベントには 16 社約 50 人に集まっていた。地域の企業を知ることに関心することは大変重要なことと理解している。小学生、中学生だけではなく、教育委員会の高校魅力化事業では、高校生に企業の良さを知ってもらう機会もあるので、ご意見は参考にさせていただきたい。
- ・ 令和 7 年度に向けた環境保全型農業拡大戦略は、今以上にどんなことをするのか、いまいち見えてこないのが実感。どういう方向に行くのか、それに対して農業者がついていけるのか、いろいろなことを含めて、まだちょっと疑問がいっぱいで、第一に京の豆っこ肥料の生産量がなかなか上向かない、生産拡大できない状況にある。
➡今の自然循環農業は、京の豆っこ肥料を使った農業と同義で、肥料の生産量が上がらないと拡大が望めないという現状がある中で、令和 5 年に環境部門が農業と一緒に、これを契機に今まで与謝野町の農家の方、自然循環農業以外にもいろいろな環境に資する農業の取り組みをされており、ここに光を当てることによって、町全体としての農業の価値を上げていこうという考えのもと、今現在調査も含めながら、色んな機関の方にご意見を伺いながら環境保全型農業拡大戦略の策定を進めている。来年度はこの拡大戦略のプロモーションで外部に発信しながら、その中で戦略の政策等を作っていきたい。
- ・ 与謝野町には観光のキラーコンテンツが無いと言われたが、観光は交流人口を増すためには非常に大事なコンテンツで、与謝野町の綺麗な景色に心洗われると感じられる方もたくさんいらっしゃると思うし、それが与謝野町の魅力だと思うので、多面的な取り組みをどんどん進めていただければと思う。
- ・ これだけいろいろ取り組まれていて、何をしているかわからないという町民の評価は残念。今取り組まれている素晴らしい活動を今までとは違ったアプローチの方法で、町民の方々に伝えることをされたらどうかと思う。
- ・ 新しいことをすることよりも、住んでいる人たちが誇りを持って暮らしてきたことの深堀とか、当たり前になって見過ごしていることを聞き、書きしていくとか、与謝野町だからこそ、住ん

でいる人の、モノを生かしていく事業にスポットライトを当てていただけたらと思う。

都会の人は、この景色は素晴らしい、お金では買えないって、すごく感動してくださる。あたり前を売りにしてもいいのかなと思う。

➡与謝野町はやはり原材料を大切にす。水も原材料ですけれど、そういったものからちりめんだったり、お米だったり、農業と織物業の町ってところからの景観。こういうのをしっかり守り大切にしながら、来年度は合併から 20 周年で、しっかりと振り返って未来を展望していくところを、地域協働のまちづくりの取り組みの中でも、対話を重ねながらやっていけたらと感じている。

- ・ 先日ひきこもり支援ネットワークの会議があり、引きこもりが始まってから社会に出るようになるまで 10 年以上かかっておられるという方が 2 名ほどあった。社会復帰できない方と社会復帰できる方の何が違うのだろうという視点の中で、やはり所属、どこかに所属をしておられる方は、支援の手も届きやすいし、目が届くので、やはり地域、誰かと関わっておられるということが大切なのかなと思うが、ひきこもり支援のための連携強化というところで、どのような連携の強化を進めていかれる予定なのか。

➡教師の OB の方が、教育現場におられた頃から繋がっている方を支えていきたいということで NPO 法人を立ち上げられた。7 年度は、そこから必要なニーズを引き出しながら、必要な支援を広げていくところを強化していきたいと思っている。関われる人という部分について、やはり役場ではなかなかできないものを、地域の団体さんに協力してもらいながら、新しい NPO も出てきておられる中で、その NPO と手を繋ぎながら、子育ての NPO でも高齢者も含めた枠にとらわれない関係性を期待しながら、地域の NPO と力を結んでいきたいと思っている。

- ・ 高齢者の生きがいという点で、2 年ちょっと敬老会の開催がなく、ハガキが一通届いて「長寿おめでとうございます」という格好で済んでいるが、敬老会という記念行事は老人福祉法の中で全国の地方公共団体に対して、記念行事を行うよう呼びかけがされているはず。コロナの関係もあって大々的にできない要素もあると思うが、どのように思っておられるのか伺いたい。

➡コロナ前は、町内全域で敬老事業を取り組んでいたが参加率が低く、コロナを機会にさらに参加者が減っていった状況があり、町全体での敬老事業の見直しについて老人会の役員さんから話を聞き、見直しをさせてもらったところ。身近な地域で参加できる敬老事業が今の時代には求められているのではないかと思い、地域での取組を支援させてもらっている。この他、町の敬老の取り組みとしては、長寿を迎えられた節目、喜寿の方、米寿の方、100 歳、100 歳を越えられる方にお祝いをさせていただくと、地域の敬老事業に対する支援が今の流れとなっている。ハガキは取り組みの一端で、お年寄りの長寿を祝う取り組みは、引き続き喜んでいただけるような取り組みを続けていきたいと思っている。

- ・ 子育て支援センターを利用する子育てママの状況が年々変わってきている。1 年で仕事復帰、1 歳で子供を預けて働くお母さんもすごく増えてきて、支援センターを利用されるお母さんたちが激減している。支援センターは 2、3 年通い、子育てや夫婦関係のことを話せる友達を作ってお母さんとしての土台が少しできてから保育園に預ける感じだったのが、仕事をすぐ決

めて、お金を稼ぎに行く人がすごく増えてきて、ちゃんと相談できる人だったり、本当に困っていることを話せる状況が作りにくい時代になってきている。国は、子育てに危機感を感じて支援センターを設置してきたと思うが、すぐに働くお母さんたちが増えてきている今、支援センターの形を変えていかないといけないし、その働くお母さんたちへのサポートの形も変えていかないと、これはすごくまずいなって思っている。介護保険のケアマネージャーによるサポートが子育て家庭にも必要になってきていて、そういう事業を行うよう国から降りてきていると思うが、その辺の具体的な事をやっぱり書かれるべきだと思う。

➡与謝野町の出生数は大体 80 人ぐらいで減ってきており、全国的な少子化と同じトレンドを示している。そういった中、与謝野町では、子育てするならこの町でというところで、例えばベビーギフトに国からの 10 万円プラス与謝野町単費で 10 万円を加算している。また家庭センターの方を中心に専門家や、保育士、保健師との連携で、非常にきめ細かなサービスに取り組んでいる。細かい専門的な分野ごとの相談支援メニューがあるので、個別に説明させていただく時間があれば子育て応援課からさせていただけたらと思っている。

支援センターは、平成 30 年ベースでいくと半減、大体 1 万人の利用があったのが 5,000 人ぐらいに減ってきている。委員のおっしゃる通り子育て支援センターは子供たちのためだけではなく、親のためでもある施設というところは京都府、国からの指導があり見直しをかけていく取り組みが当然必要だろうと考えており、ご意見ご提案をいただいて、しっかり予算に繋がっていきたいと思う。

- ・ おばあちゃんの一人暮らしで腰がすごく曲がっている方が、手押し車を押してかなりの距離を歩いているのを見る。持続可能な公共交通を目指してとあるが、もうちょっと何かいい考えがないかなと思う。

➡与謝野乗合交通は買い物、お出かけ、病院も含めて、ここを支援していくというところを狙いに、加悦地域では自家用有償運送の協議会を作っていただき、野田川地域では日本交通のタクシー会社がタクシーを使った乗合交通をやっていただく。ここでどこまで行政が支えていけるのかというところについては、これはしっかりと議論をしていかないと、研究もしていかないといけない。

(3) その他

・令和 5 年度の決算概要等について

○事務局から資料 3-1 に基づき説明を行った後、質疑応答を実施。

<意見・質疑応答>

※意見等なし

・デジタル田園都市国家構想交付金 事業効果検証について

○事務局から資料 3-3 に基づき説明を行った後、質疑応答を実施。

<意見・質疑応答>

※意見等なし

・よさのみらい会議プロジェクトについて

(谷口会長) 審議会主催のよさのみらい会議について声掛けだけで実現できていないが、与謝野駅周辺の取り組みについて話題提供いただき、それも踏まえつつ、集まった方が地域での関心事とか、魅力とか、困りごととか、やっていきたいことを話し合える場を、今年度内に1回は作りたい。皆さんのご協力をお願いします。

・総合計画審議会の今後の予定について

委員任期、R7年度以降の第3次総合計画策定に向けた動きについて事務局から報告

4. 閉会 (副会長あいさつ)

(宇野副会長) 委員の皆様は日々多忙な毎日送られていると思います。それとまた秋も深まってまいりまして、出にくい気象条件でもございます。そういう中で、多くの委員の皆さんにご出席をいただきまして、第2回目の与謝野町総合計画審議会の審議をしていただきました。本当にありがとうございました。会議は今日で最後ということではございますけれども、この審議会の審議が煮詰まり、また次の年に大きくなりますよう、皆さん方のご支援もいただきたいと思います。本当に今日はお苦勞様でございました。ありがとうございました。

閉会

以上